

社教連会報

発行 一般社団法人 全国社会教育委員連合

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-6
日本弘道会ビル7階 TEL 03-6380-8540

「協働」時代の

社会教育委員制度

文部科学省生涯学習政策局社会教育課長

坪田 知広

平成25年6月14日、「第2期教育

振興基本計画」が閣議決定されました。本計画では、その基本的方向性のひとつとして、「絆づくりと活力

あるコミュニティの形成」を掲げており、基本的方向性を支える環境整備として、「社会教育推進体制の強化」を目指すこととしています。

互いに教え合い、学び合うことを通じて、ソーシャル・キャピタル(社会関係資本。様々な人々のつながりや支え合い)を形成していくのに、

関係部局と連携し、また、企業やNPOなどの地域社会の様々なブレイ

クアウト(突破口)を創出し、

社会教育の手法が極めて有効であることが、認識されはじめています。我々は、このような期待に、十分に

応えられているでしょうか。一方では、予算の削減、人員の減少など、現在、社会教育行政は逆境にあると言えます。

今後、この逆境を打破し、社会教育に寄せられる期待に応えていくためには、行政がその古い殻を破り、

関係部局と連携し、また、企業やNPOなどの地域社会の様々なブレイクアウト(突破口)を創出し、

社会教育の手法が極めて有効であることが、認識されはじめています。我々は、このような期待に、十分に

応えられているでしょうか。一方では、予算の削減、人員の減少など、現在、社会教育行政は逆境にあると言えます。



坪田 知広
(つばた ともひろ)

■プロフィール

平成4年4月 文部省(現、文部科学省)高等教育局私学行政課

平成7年4月 生涯学習局社会教育課法規係長

平成10年9月 体育局競技スポーツ課課長補佐

平成11年8月 愛知県警本部少年課長

平成17年4月 三重県教育委員会事務局次長

平成20年4月 文部科学省科学技術・学術政策局企画官

平成21年7月 観光庁観光地域振興課地域競争力強化支援室長

平成24年8月 文部科学省大臣官房総務課広報室長

平成25年4月 生涯学習政策局社会教育課長

ヤーを巻き込んで協働していくことにより、社会総がかりで教育に取り組むことがどうしても必要です。

私は、そのための鍵となるのが、社会教育委員の皆様であると考えています。

そもそも、社会教育委員制度は、「行政と市民との架け橋」として構

想されたものでした。社会教育法の制定から60年以上が経過した今、社

会教育委員の皆様の役割は、色褪せるところか、これまで以上に重要になつてきていると言えます。

折しも、近年教育委員会制度に対して様々な厳しい目が向けられ、改

革の議論が行われています。社会教育についても、生涯学習分科会等にお

いて、活発な議論が行われました。ここでは、今後の行政制度の在り方

について議論されていますが、制度という器が立派になつても、

器を満たす酒の味が変わらなければ意味がありません。

社会教育委員の皆様には、現状に安住せず、ますます

積極的にご活躍いただくことを期待します。

きらり輝く人・まちづくり

三重県社会教育委員連絡協議会

会長 湯浅 祥司



されている方にお会いできません。皆様との会話から本物の「社会教育」を受けることになりました。

人生80歳まで生きて三万日。私たちを育ててくれた社会への恩返しを検討するとき、これ以上の場はないと考えています。

三重大会では「すごいやんか！きらり輝く人・まちづくりin三重」をスローガンに、社会教育法ができた頃には考えられなかった、間口が広く奥行きのある「学校・家庭・地域を大切にした 人が輝き、協創する社会教育の推進」を研究主題とさせていただきます。

「あなたが実践していることは社会教育だから」という説明で、市社会教育委員をお受けしてから15年。美（うま）し国三重で開催される全国大会・東海北陸大会の実行委員長を務めさせていただきます。もとより浅学非才の身ですので、教えていただくことの方が多いと思っております。

今大会は全国社会教育委員連合設立50周年にあたりますので、大会運営は少し趣を変え、初めての試みとして全体会の中で県内全29市町と関係団体の取組みを、実践交流広場で

発表いたします。平たく言えば、社会教育実践の参加型スーパーマーケットのようなものを想定しています。ここでは皆様との関わりが大切になります。ブース内で「同業者」として大いに意見交換していただけたら幸いです。

社会教育活動の継続には、熱意・マンパワーや資金が要ります。

活動を10年継続できれば、市民権が得られます。50年続けば、世の中で広く認められます。千年続けば、国の歴史を形作ります。

今回の三重大会では、様々な節目が重なっています。

例えば、来年7月7日、世界遺産・熊野古道は登録10周年を迎えます。展示40ブースの中には古道への住民参画事例もございます。

また、前記のように、今年是全国社会教育委員連合が昭和38年に全国組織になって50年、法人化30周年にもあたります。

さらに、本大会は、20年に一度の伊勢神宮式年遷宮の中で一番大切な儀式、遷御の儀の直後に開催されます。神宮には鎮座二千年・遷宮千三百年の歴史があります。これを20年という絶妙の期間で区切り、文

化・技術を民間の次世代へ伝承させるプロセスがご遷宮と理解しています。そこで、大会2日目（10月24日）には、外宮での実践視察研修も準備させていただきます。

さて、私たち県内60余名の実行委員は、統一名刺を作成しました。名刺には、その長さでギネスを目指した「真珠の首飾り」の写真が掲載されています。この写真をモチーフとして、一個一個光り輝く真珠玉に社会教育委員一人ひとりを、真珠玉の集合体である首飾りに社会教育委員同士のつながりをイメージしました。この想いが今大会の根底を流れてくれたらと期待しています。

昭和24年6月生まれの社会教育法は変貌時期を迎えています。成立後から続く「前型」から「ネットワーク型」への変化は、予想以上のスピードで進んでいます。「社会教育」は大きなターニングポイントにさしかかっているといえます。ぜひ第55回三重大会にご参加いただき、全国の皆様ともしっかり大きな環を築き、今後の活動に役立てていただきますようお願いいたします。

**第55回全国社会教育研究大会三重大会
第44回東海北陸社会教育研究大会 ご案内**

◇大会の概要

- 1 スローガン 「すごいやんか! さりり輝く人・まちづくり in 三重」
- 2 研修主題 「学校、家庭、地域を大切にした 人が輝き、協創する社会教育の推進」
- 3 期 日 平成25年10月23日(水)～25日(金)
- 4 大会参加費 5,000円/人
- 5 会 場
 (全体会) 三重県営サンアリーナ(三重県伊勢市朝熊町字鳴谷4383-4)
 (分科会) 伊勢志摩ロイヤルホテル(三重県志摩市磯部町の矢字笠取939-6)
 志摩市阿児アリーナ(三重県志摩市阿児町神明1074 番地14)
 志摩市立図書館(阿児ライブラリー)(三重県志摩市阿児町神明1074-15)

6 大会日程

《第1日目》

- 10月23日(水)会場：三重県営サンアリーナ
- 社教連理事会 14:00～15:20
- 社教連総会 15:30～17:00

《第2日目》

- 10月24日(木)会場：三重県営サンアリーナ
- 【受付】 11:20～12:00
- 学習成果の発表① 12:00～12:15
- 開会行事 12:20～13:10
- 社会教育実践交流広場 13:15～14:35
- 学習成果の発表② 14:40～14:55
- シンポジウム 15:00～16:20
- 学習成果の発表③ 16:30～17:00
- 閉会行事 17:00～17:10

《第3日目》

- 10月25日(金)会場：伊勢志摩ロイヤルホテル
志摩市阿児アリーナ
志摩市立図書館(阿児ライブラリー)
- 【受付】 9:00～9:30
- 分科会〔6分科会を設定〕 9:30～12:00



次回開催地挨拶
～第54回山梨大会にて～

三重県社会教育委員連絡協議会会長

第55回全国社会教育研究大会三重大会実行委員会委員長 湯浅 祥司

平成25年度社会教育研究大会一覧

全国大会	(三重大会)	10月23日(水)～25日(金)	三重県伊勢市ほか
北海道地区	(根室大会)	9月19日(水)～20日(金)	北海道根室市
東北地区	(岩手大会)	10月9日(水)～10日(木)	岩手県盛岡市
関東甲信越静地区	(栃木大会)	11月14日(木)～15日(金)	栃木県日光市
東海北陸地区	→ 全国大会と合同開催		
近畿地区	(和歌山大会)	9月5日(木)	和歌山県和歌山市
中国四国地区	(広島大会)	11月21日(木)～22日(金)	広島県尾道市
九州大会	(長崎大会)	11月14日(木)～15日(金)	長崎県長崎市

北から南から

社会教育委員は隙間産業の担い手？

京都府社会教育委員連絡協議会

会長 杉本 厚夫



先日、町内会の地域清掃があったので参加しました。道路の班と公園の班に別れて掃除をします。私は公園の班でしたが、行ってみると、すでに皆さんが手際よく掃除されていて、どこを掃除していいのかよくわかりません。そこで、目についた汚い所を掃除していただきました。すると、公園班の人から「杉本さん、そこは道路の班がやる場所ですよ」と言

われました。ところが、しばらくして道路班の人が来られたので、「すみません。道路班の場所を掃除しています」と言うと、「いえいえ、そこは、公園の一部ですよ」と言われました。それを聞いて分かりました。なぜ、ここが汚かったのか。そうですね、公園班も道路班も、そこが相手の場所だとして、どちらも掃除しないからなのです。

そこで思いました。社会教育委員の活動はこのような狭間を掃除することではないでしょうか。とりわけ、学校と地域の狭間で、子どもたちをめぐる様々な問題が発生しています。京都にはPTAと地域の青少年団体が一緒になって「いじめ」や「非行」問題に取り組んでいる地域があります。また、課題を抱えている学校が地域に呼びかけ、地域の大人たちが学校で清掃活動をしたり、花を植えたりして、課題を解決した学校もあります。昨年の12月に起こった大阪市立桜ノ宮高校での体罰による自殺は、正課と課外の狭間で起こったと言っても過言ではありません。もし、そこに地域のスポーツクラブが存在したら、あるいは地域の大人たちが関わってしてくれたら、未然に防げていたのではないかと思います。

つまり、これからの社会教育委員は、それぞれの社会教育団体をつなぎ、隙間を埋めること。もつと積極的には、各社会教育団体をコーディネートして、住民にとつて豊かな社会を提供できる企画をすることではないでしょうか。その意味では、社会教育委員は現代の教育界にあつて、その隙間産業を担っていると思うのですが、如何でしょうか？

社会教育手帳

会議の備忘録等に最適です
新書版 定価1,260円(税込)



主な内容

1. 備忘録と生活情報
2. 社会教育資料
3. 全国社会教育委員連合の概要

※注文は(一社)全国社会教育委員連合へ直接、またはホームページからもできます

—好評発売中—

社会教育委員のためのQ&A

社会教育委員 必読の一冊



主な内容

A5判 定価1,260円(税込)
企画・編集/
(一社)全国社会教育委員連合
発行/(株)美巧社

社会教育とは、社会教育と生涯学習
社会教育委員委嘱の範囲
諸問に応じるとは
教育委員会への助言とは
必要な研究調査とは
社会教育委員制度の活性化

社会教育と社会教育行政
實際生活に即するとは
環境を醸成するとは
社会教育を行う者とは
社会教育の振興と地方公共団体の任務
公の支配に属しないとは
教育委員会と社会教育関係団体の関係

文部科学省から

調査研究事業を受託

生涯学習施策に関する

調査研究事業

当連合では、このたび文部科学省

から「生涯学習施策に関する調査研究事業」を受託いたしました。研究期間は平成25年8月1日～平成26年3月14日、研究テーマは「コミュニティ形成に寄与する社会教育推進体制のあり方に関する課題研究」です。以下に研究の趣旨と内容等について概略を紹介します。

1. 調査研究の趣旨

第2次世界大戦後我が国の社会教育（行政）は、公民館や民間の社会教育関係団体等により、地域課題に関する学習と課題解決に向けた取り組みが推進され、その実施が高く評価されています。しかしながら、近年の社会情勢の変化及び東日本大震災な

どにより、コミュニティの維持・存続が危惧される状況が生まれ、こうした課題に対応しうる社会教育の推進体制のあり様が喫緊の課題となっています。

社会教育の推進体制の検討にあたっては、その中核的役割を担っている社会教育委員及び社会教育主事らを抱える課題、今後の役割とあり方両者の協働のあり方等について、有識者による研究委員会を設置し、先行研究、都道府県における社会教育行政組織、専門的職員の任用と研修、社会教育委員の委嘱と研修、活動等に関する全国的な情報の収集、社会教育委員及び社会教育主事を設置する地方公共団体へのヒアリング調査等をもとに討議を行い、今後の我が国の社会教育推進体制のあり方を検討する際の情報源、基礎資料とすることとしています。

2. 具体的な内容及び計画スケジュール

①計画内容

○研究課題

- ア コミュニティの現状と課題
- イ これからの社会教育委員、社会教育主事の役割と求められる能力
- ウ 地域コミュニティの形成における社会教育推進体制のあり方
- エ 先行研究に関する情報、資料の収集
- オ 全国的情報の収集
- カ ヒアリング調査

(ヒアリング対象地域)

- ・ 社会教育の推進に先導的取り組みを展開している県及び市町村を数か所選定する。

(ヒアリングの主な内容)

- ・ コミュニティの現状と課題に関する地域特性と地方自

治体におけるコミュニティ施策

・ これからの社会教育委員、社会教育主事の役割と求められる能力

・ 地域コミュニティの形成における社会教育推進体制に関する現状と課題及び展望

・ 教育委員会と首長部局の連携事例（事業・推進組織等）の現状把握

・ 官（教育委員会、首長部局）と民（NPO、地域団体、社会教育団体等）の連携事例の実態把握

・ 地域における「ソーシャル・キャピタル」としての社会教育」の評価

②研究日程

○研究委員会

8月28日から5回以内

○全国的情報の収集

8月～9月

○ヒアリング調査

8月～10月（予定）

3. 当該年度における成果の目標

社会教育委員及び社会教育主事が抱える課題、今後の役割とあり方、両者の協働のあり方等について、有識者による研究委員会を設置し、先行研究、都道府県における社会教育行政組織、専門的職員の任用と研修、社会教育委員の委嘱と研修に関する全国的な情報の収集、社会教育委員及び社会教育主事を設置する地方公共団体へのヒアリング調査等をもとに討議を行い、我が国の社会教育推進体制のあり方について一定の見解を出します。

○研究委員

上條秀元 宮崎大学名誉教授

(一社) 全国社会教育委員連合副会長

山崎清男

大分大学副学長

大分県社会教育委員連絡協議会会長

上野景三

佐賀大学教授

佐賀県社会教育委員連絡協議会会長

佐賀県社会教育委員連絡協議会会長

清國祐二

香川大学生涯学習教育研究センター教授

香川県社会教育委員連絡協議会会長

松岡広路

神戸大学教授

神戸市社会教育委員会議議長

鈴木真理

青山学院大学教授

神奈川県社会教育委員連絡協議会会長

濱中昌志

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター社会教育調査官

稲葉 隆

東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課支援担当係長

○顧問

大橋謙策

(一社) 全国社会教育委員連合会長

○事務局

坂本 登

(一社) 全国社会教育委員連合常務理事

林 洋子

(一社) 全国社会教育委員連合事務局

学びを通じた被災地の地域

コミュニティ再生支援事業

文部科学省が平成24年から推進している「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を「被災3県における社会教育委員復興支援実行委員会」を立ち上げて推進すべく申請していたところ、このたび受託が決定し、具体的な事業を実施しております。

○社会教育関係職員・指導者研修

①宮城県会場(仙台市)

②福島県会場(いわき市)

○イベント、学習・講座の開催

①沿岸被災地の親子自然学校(岩手県遠野市)

②被災者の交流と防災・安全学習(岩手県釜石市)

③家庭教育講座(岩手県大槌町)

④子育て支援と家庭教育学級(宮城県気仙沼市)

⑤夏休み子どもの体験交流事業「楽市白河」(福島県白河市)

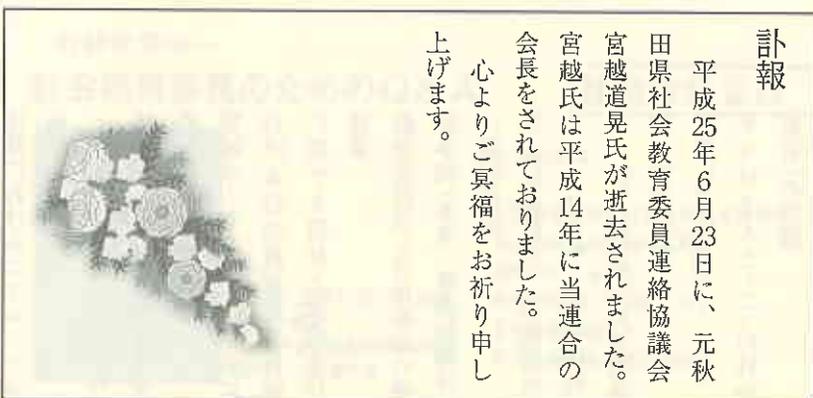
⑥学びのサポーター養成事業(福島県いわき市)

○アンケート調査

被災地である岩手県、宮城県、福島県の全社会教育委員に対し、大震災発災時および復旧・復興への意識と活動についてアンケート調査を実施し現在とりまとめを行っています。

訃報

平成25年6月23日に、元秋田県社会教育委員連絡協議会宮越道晃氏が逝去されました。宮越氏は平成14年に当連合の会長をされておりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



「社教連」だより

平成25年度

第1回理事会・総会開催される

平成25年度第1回「社教連」理事会・総会が、去る5月9日(木)日本弘道会ビル8階講堂で開催されました。

総会に先立ち、来賓の坪田知広文部科学省生涯学習政策局社会教育課長より「社会教育・生涯学習に関する最近の動向」についてご説明がありました。

続いて①平成24年度の事業報告・決算報告②第55回全国社会教育研究大会(三重大会)について③第56回全国社会教育研究大会(徳島大会)について④第57回全国社会教育研究大会(大分大会)について⑤役員の改選について⑥公益目的支出計画実施報告について審議され、いずれも原案どおり承認されました。

その他の事項として、①社会教育委員活動活性化セミナー②助成事業③社教情報の購読④東日本大震災の義援金⑤消費税の引き上げに伴う当連合の対応について、資料に基づき説明がありました。また、「組織のあり方に関する検討について」検討委員会を設置することが提案され、設置が了承されました。なお、構成等具

体的な提案は第2回理事会・総会で諮ることが確認されました。

平成25・26年度役員

会長(代表理事) 大橋謙策

常務理事(業務執行理事) 坂本登

副会長 上條秀元、湯浅祥司、美馬

義明

理事 菊池龍三郎、内海隆、永田

幸男、鈴木文男、大橋清司、

伊藤晴美、石岡佐平、鈴木

眞理、持木一茂、榎本浩巳、

高田一宏、有本章、江頭

明文、新納堯英、相庭和彦、

小栗勝

監事 中山清志、秋元秀夫

「社教情報」編集委員会開催

5月11日(土)に「社教情報」69号の編集委員会を日本弘道会ビル内の事務室にて開催しました。発行は9月を予定しております。内容の詳細は下欄をご覧ください。

指定都市社会教育委員連絡協議会に出席

5月31日(金)に新潟市で行われた指定都市社会教育委員連絡協議会に、上條秀元副会長が出席しました。各県の総会にお伺いしています。

今年度も、当連合の役員が各県の総会にお伺いしています。

社会教育委員活動活性化セミナー

7月26日(金)に標記セミナーを日

本弘道会ビル8階講堂にて開催しました。「社会教育の再構築」について青山学院大学の鈴木眞理教授にご講演いただきました。また事例研究として「社会教育振興計画の立案と社会教育委員の参画」について秋田県大館市から講師をお招きし貴重なお話を伺うことができました。コメントターを鈴木眞理教授、コーディネーターを上條秀元副会長にお願いしました。参加者は7名と少なく大変残念でしたが、ワークショップ、情報交換会ともに盛会でした。

文部科学省から調査研究事業を受託

文部科学省から調査研究事業を受託いたしました。期間は8月1日～平成26年3月14日までです。8月28日(水)、29日(木)に第1回研究委員会を開催する予定です。

文部科学省から委託事業を受託

文部科学省から平成25年度「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」を受託いたしました。

平成25年度第2回理事会・総会

平成25年度第2回理事会・総会は、10月23日(水)三重県伊勢市内にて開

催の予定です。詳細は郵送しております。

ご多用とは存じますが、ご予定くださいますようお願いいたします。

特集・「社会教育のビタミン～社会教育を支える人びと」

- <巻頭言>再構築の時は今 合口 隆史
- <特集>執筆者 神部 純一、坂田 裕一、可见 先生、亀井 美和、金子 浩朗
- 伊藤 晴美
- <実践で語る戦後の社会教育史> 片山 満徳氏(三重県) 取材 上條 秀元
- <答申・提言>埼玉県の生涯学習の推進方策について 梶野 光信
- <トピック>第2期教育振興基本計画における社会教育行政の位置づけについて 今野 雅裕
- <社研コーナー>社会教育を支える人びと 濱中 昌志
- <海外見聞>イギリスにおける学校と地域等との連携 清國 暲二
- <調査研究報告>OECD「成人力」調査の概要(その2) 立田 慶裕
- <解説>組織マネジメント 山崎 清男

編集・発行 (一社)全国社会教育委員連合 TEL 03(6380)8540 FAX 03(6380)8541

